

龍ヶ崎市の財政健全化の取り組み ～中期財政計画について～

本市では、財政の健全化を達成するため、平成25年度から平成28年度を計画期間とした「龍ヶ崎市中期財政計画」を策定し、財政力強化に取り組んでいます。ここでは、平成27年度決算による実績についてお知らせします。

平成27年度決算による計画第3年度目の実績

計画第3年度（平成27年度決算）では、中期財政計画作成時の財政収支見通しによる推計と比較して、歳入の増が37億7,700万円、歳出の増が26億4,300万円となり、効果額として、合計11億3,500万円ほどの財源を確保することができました。これは、推計時点で見込んでいなかった子ども・子育て支援制度への移行に伴う施設型給付費（扶助費）の増と、その財源である国庫支出金の増により、歳入歳出それぞれ増となったこと、また、消費税率改正分の平年化に伴う地方消費税交付金の増などによる歳入の増額が、公共施設維持整備基金などへの積立金の増額などによる歳出の増額を上回ったことによります。この財源確保により、財政調整基金に2億円を積み立てることができました（表①）。地方債、債務負担行為および一般基金残高の推計との比較は（表②）のとおりです。また、中期財政計画に掲げた財政運営の目標に対する平成27年度決算の実績は、（表③）のとおりとなりました。

（表①） 推計と実績額の比較

（単位：百万円）

歳入項目	H27推計	H27実績	増減額	歳出項目	H27推計	H27実績	増減額
地方税	9,803	9,973	170	人件費	3,901	4,210	309
地方譲与税等	1,289	1,843	554	物件費	3,308	3,256	△52
地方特例交付金	18	43	25	維持補修費	178	136	△42
地方交付税	3,352	3,586	234	扶助費	5,071	6,027	956
分担金及び負担金	280	281	1	補助費等	3,137	3,915	778
使用料	385	308	△77	普通建設事業費	631	1,530	899
手数料	45	43	△2	災害復旧費	0	7	7
国庫支出金	2,462	3,573	1,111	公債費	3,005	2,737	△268
都道府県支出金	1,471	1,628	157	積立金	8	648	640
繰越金	863	2,005	1,142	投資及び出資金	4	1	△3
諸収入	687	717	30	貸付金	35	12	△23
地方債	1,896	1,851	△45	繰出金	2,717	2,358	△359
その他	12	487	475	財政調整基金積立※1		△200	△200
歳入合計	22,563	26,340	3,777	歳出合計	21,995	24,638	2,643
				収支差引	568	1,703	1,135

（注）項目別に百万円単位で四捨五入しており、合計欄の数値と合わない場合があります。

※1 歳出項目のうち、「財政調整基金積立」は、積立金に含まれていますが、収支改善に伴う任意の積み立てであり、収支改善額の一部であることから、歳出から減額しています。

龍ヶ崎市の財政健全化の取り組み ～中期財政計画について～

(表②) 地方債、債務負担行為および一般基金残高

(単位：百万円)

項目	H27 推計	H27 実績	増減額
地方債残高	24,162	24,737	575
債務負担行為残高	2,606	2,605	△1
一般基金残高	3,552	6,426	2,874

(表③) 目標と実績

項目	指標	目標値	H27 実績※
財政収支の改善	基礎的財政収支	黒字	1,230 百万円
柔軟な財政構造 への転換	経常収支比率	90%以下	90.1%
	積立金残高比率	35%以上	42.5%
将来負担額の削 減	実質債務残高比率	180%以下	209.0%
	社会資本形成の将来世代負担比率	30%以下	27.8%

※「H27 実績」は速報値であり、変更が生じることがあります。

中期財政計画第3年度目は、第2年度目と同様に、推計時に比べ良好な結果を達成することができました。本市の決算における収支状況は、改善傾向にあるものの、依然として目標に掲げた財政指標の値を全て達成することはできていません。今後とも職員一丸となって「龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」の趣旨に則り、財政健全化の取り組みを鋭意推進してまいります。